

# 大人が絵本を

## 第96回 本当は怖い昔話



司書・読書アドバイザー 安藤 宣子\*  
小児歯科医師 濱野 良彦\*\*

\* 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)  
\*\* 医療法人元気が湧く 理事/ファウンダー

### いまを生きる

今日、何が起こるのでしょうか。明日の社会は安全なのでしょうか。先の見えない時代とは、まさに混迷する今のことをいうのでしょうか。日本が、平成から令和へ突入して、誰もが洋々たる新時代に大きな期待を膨らませたとき、その期待を断絶するような出来事に次々と襲われました。

平成の30年間で、医療・テクノロジーは飛躍的に発展しました。しかし、どんなに進歩した医療であっても、突如と襲ってきたウイルスには太刀打ちできずに、大切ないのちを奪われてしまいました。

世界では内戦中の国や、他国へ侵攻を続ける国があり、はたまた核ミサイル発射を繰り返す国があって、武力紛争が頻発しています。わが国をみても、元首相が銃撃され亡くなるという、驚愕の事件が起きました。この凶悪なテロ事件は、ロシアとウクライナの縮図のようになりません。ある日突然、言葉もなく銃を突き付けられて、いのちが断たれるなど言語道断です。

世界中の子どもたちが今を健全に生き、豊かな心で将来の担い手になるために、私たち大人が果たすべき責任をいたくかみしめなおしました。

### 古典童話って、怖いもの？

ウクライナとロシアには、それぞれ古くから語り継がれている昔話があります。ウクライナ民話の『てぶくろ』とロシアの昔話『おおきなかぶ』は、日本でも70年もの間親しまれている、ほのぼのとしたお話です。

本連載22回の「昔話を読むときは」を覚えていまずでしょうか。日本古来の文化と精神性を伝える昔

話が日本に<sup>あまた</sup>数多あるように、世界各国には、その国の文化となる昔話や古典童話が、豊富に残されています。海外のそれらは、日本でも絵本、童話、読みものの形で多数の作品が伝えられ、子どもたちはもとより、そのお話を子どものころに楽しんだ大人が、人生経験を重ねてから読むと、より深みをもつという不思議な力を内包しているのも特徴のひとつです。

日本では、1990年代後半から2000年代にかけてグリム童話やアンデルセン童話が、大人の間で話題になりました。きっかけとなったのは、1998年に出版された『本当は恐ろしいグリム童話』です。語り継がれているストーリーが、初版のグリム童話に描かれている「恐ろしい」部分がなくなっているとして真実を伝えようとするものでした。

『本当は恐ろしいグリム童話』  
桐生 操 著  
(KK ベストセラーズ)



しかし、著者の想像や脚色によって編集されたに他ならず、「本当」と謳っていてもパロディーでしかなかったのですが、広く社会に流布しているメルヘンと異なる残虐な内容にマスメディアは飛びつき、「グリム童話」の真相解明にこぞってフォーカスすると、話題が話題を呼んだのです。

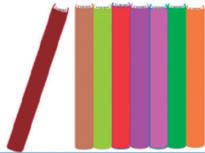
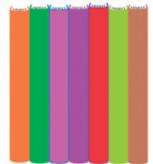
### プリンセス・ストーリーの仕掛け人

「本当は恐ろしいグリム童話」として、もっとも取り上げられたのは『白雪姫』と『シンデレラ』です。

お話が変わっていることに着目するのなら、そもそも問題なのはグリム童話やアンデルセン童話を題

# 手にするときは！

に込められた大切な力



企画 濱野 良彦

構成 木須 信生 ※※※

※※※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)



材としてウォルト・ディズニーがプリンセス物語に脚色して映画化したことでしょう。そのディズニー映画は絵本にもなり、本家グリム絵本と肩を並べて世の中に出回っているのです。もちろん、子どもたちに夢を与えるプリンセス物語は、その要素だけをみると当然、必要ジャンルでしょう。

なぜなら、ビブリオキッズのYちゃんの健やかな成長には、『シンデレラ』や『白雪姫』の世界に没頭することが大きく関与しているからです。「意味や理由より、非言語的で想像する余地にあふれ、そこに、ことばの豊かさが重なることで子どもの全感覚に働きかけて揺らされている」Yちゃんは、絵本遊びとごっこ遊びを繰り返し、そこにお母さまの関わりが加わって「社会情動スキル」と「非認知能力」が養われているのです<sup>1)</sup>。

しかしながら、伝承民話をベースにして残酷な部分を削り取り、美意識や恋愛観を増長してグリム童話と類似したタイトルで流布しているディズニー絵本は、本当のお話とすり替えられてしまっているのです。

『ウォルト・ディズニー シンデレラ』  
メアリー・ブレア 画  
シンシア・ライラント 文  
おかだよしえ 訳  
(講談社)



日本昔話が、かわいいタッチの画家による絵本となったことで、貧しい暮らしも、勇ましいお話も、悲しい物語もファンタジー化されてしまいました。とりわけ若いお母さまは、同一昔話で再話者の異なる絵本の中から「かわいいから」という理由でファンタジー版を選択しお子さまと読みあうのです。もはや、日本古来の文化を伝える昔話ではなくなっているのです。

もう、お分かりでしょう。若いお父さま、お母さ

まにとって、ディズニープリンセス物語となった『白雪姫』『シンデレラ』が本当のグリム童話になってしまっているのです。



## 『白雪姫』の結末を語れますか？

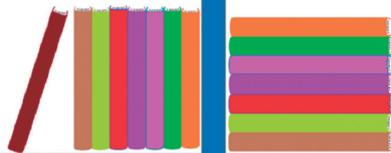
かの有名な『白雪姫』の結末を、皆さまはどのように記憶していますでしょうか。

お后に渡された毒リングをかじって息絶えた白雪姫は、こびとたちによって棺に置かれます。そこへ王子が現れキスをすると白雪姫は目を覚まし、お城に迎えられて王子と結婚して幸せに暮らしました<sup>2)</sup>(完)。

このロマンチックなハッピーエンドは、ディズニー版『白雪姫』です。しかも物語の冒頭では、井戸端で歌う白雪姫を見た王子が心惹かれるという出会いがあります。

しかし、グリム童話では、白雪姫と王子が初めて対面するのは、魔女に手渡された毒リングを食べて既に倒れているときなのです。生きていたときの白雪姫を知らない王子は、こびとたちに姫を譲ってもらうのですが、その棺を運ぶ家来がつかずいて、棺が大きく揺れたはずみに毒リングのかけらが喉から飛び出して、白雪姫は目を覚ますというのがグリムのお話です。クライマックスはお城での王子と白雪姫の婚礼ですが、ロマンチックなだけではありません。魔女に扮していた継母が、王子の相手が白雪姫だと分かった後の結末はこうです。

そのときにはもう鉄の靴が燃えさかる石炭の火にかけられていて、火ばさみで広間に運びこまれ、お后のまえに置かれました。お后はいやおうなくまっ赤に焼けている靴をはかせられ、おどりつづけているうちに、とうとう床にたおれて、死にました<sup>3)</sup>。



これが『完訳 グリム童話集』によるラストです。皆さまの記憶のシーンはいかがでしょうか。子どもたちの知っている『白雪姫』はどんなお話でしょうか。

## 残忍な昔話には意味がある

『グリム童話集』の結末は、白雪姫を殺そうとした継母が、熱した鉄の靴を履かせられ、熱さと痛さのあまり一心不乱に動き続け、体力を消耗して死ぬのです。残忍なシーンはラストばかりではありません。

『グリム童話 白雪姫』  
グリム 作  
バーナデット・ワッツ 絵  
ささきたづこ 訳  
(西村書店)



白雪姫の美しさをねたんだ継母は、「あの子を森の中へつれていっておくれ。あの子を殺して、その証拠に肺と肝を持っておいで」<sup>3)</sup>と猟師に言いつけるのです。ところが猟師は白雪姫を逃がし、代わりに猪の子を殺して、その肺と肝を継母へ渡すのです。「料理人はその肺と肝を塩ゆでにするように言いつけられました。心の曲がった女は、それを残さず食べてしまい、白雪姫の肺と肝を食べたつもりでいました」<sup>3)</sup>。これがグリム童話『白雪姫』です。

しかし、ディズニー版『白雪姫』では継母が内臓を食べるシーンも、殺されるシーンもありません。引き継がれた残忍なシーンはひとつだけです。グリム童話で、継母が白雪姫の殺害を3度企てた、その3度目の方法こそ、ディズニー版でも核となる“毒リンゴ”なのです。

## おも グリム兄弟が童話集に注いだ念いを読む

ディズニーによってプリンセスストーリーに仕立てられた『白雪姫』ですが、実は本家『グリム童話』ではグリム兄弟によって7回の改訂が重ねられてお

り、現在に語り継がれているグリム童話のほとんどが、その7版によるものです。

グリム童話はアンデルセン童話のように、冠された人物が原作者ではありません。兄・ヤーコブと弟・ヴィルヘルムのグリム兄弟が、ドイツ、ヨーロッパの民間信仰伝承を口頭と文献資料から収集し、編纂した『子どもと家庭のメルヘン集』なのです。

最初に第1巻が発表されたのは1812年のクリスマスで、1815年に刊行された第2巻と合わせたものが初版になります。その後、兄弟の生前に7版まで改訂されるたび、ストーリーが変わっていったことについて、ドイツ伝承文学研究者の竹原威滋氏は次のように分析しています。「グリム兄弟の時代には、国民教育を通してほとんどの人々が文字を読めるようになり、音声による文芸から読む文芸へと移行する時期に差し掛かっていた。その転換期に生まれたグリム童話は『子どもと家庭のメルヘン』として、それにふさわしいモラルも織り込まれた『近代メルヘン』であったのである」<sup>4)</sup>。

つまり、グリム兄弟は50年にわたって7回の改訂を重ねるたびに、伝承文化財の中から用意周到に取捨選択して、近代国家の倫理観・家庭観にふさわしいメルヘンの定番を形成したのです。

グリム兄弟が熟慮を重ね、何度も推敲しては修正された今に残るグリム童話の元をたどるのは、重要な史料研究に必要な学問です。しかし、社会へ間違った伝え方をすることで、文化の解釈に不必要なものが入ってしまうことになるのです。文学の継承者としてグリム兄弟が表現やことばを推敲した過程こそ、史料として提示しなければならない核心でしょう。

## 物語には仕組まれた魔法がある

司書という職業に従事している私の幼少期は、もちろん文学少女でした。『白雪姫』や『シンデレラ』などのグリム童話はもっぱら、図書館で借りて読んだだけなのですが、「怖い」という印象を一切持たず



に大人になりました。そして、新人ともいえなくなったところ出版された『本当は恐ろしいグリム童話』を読んで、グリム童話の見方を「残酷」に変換してしまった私は、まだまだ“新人”の域を脱出できていなかったのだと、後に気づかされました。

スイスのマックス・リュティは、グリム童話で、本来なら血なまぐさい場面でも一滴の血も流れ出ていないことを指摘し、ヨーロッパの昔話の「抽象的様式」と述べ、他にも「一次元性」「平面性」「孤立性」「昇華作用」の特徴をもつと明示しています<sup>5)</sup>。リュティの研究を受けて、野村 法氏は「残酷と思われる場面も、様式化され抽象化された表現によって、生々しい嫌悪感を読み手に与えません。文体そのもののなかに、残酷さを残酷と感じさせないような仕組みが働いているのです」と解説しています<sup>6)</sup>。

『しらゆきひめ(絵本・グリム童話)』  
矢川澄子 再話  
こみねゆら 絵  
(教育画劇)



子どものころ読んだ『白雪姫』が、お姫様物語でしかなかった理由はここにあるのでしょうか。「焼いた靴を履かされて死んでしまう」シーンなどすっ飛ばし、白雪姫と王子が結婚するラストシーンだけが色濃く残っていたにもかかわらず、大人になって第三者のものさしを手にとってしまうと、残酷な昔話と化してしまったのです。人に踊らされずに、真実を見抜くことの大切さを教えてくれたのもグリム童話でした。

## 昔話の力

グリム童話の評価は、賛否真つ二つに分かれます。私が子どものころに抱いた『白雪姫』についての感想が象徴するように、封建的で性差別を強調している面で子どもにふさわしくないとの意見があげられま

す。しかし、一番の非難的となるのは残酷な面です。これについて精神分析医のブルーノ・ベッテルハイムは、自閉症児の研究に携わっているうちに、「昔話は子どもの心をはげしく苦しめる内的な圧迫について、子どもが無意識に理解するような語り口で語り、差し迫った心理的問題を一時的に、また永久に、解決する方法を示しているのである」との結論に達しているのです<sup>7)</sup>。

リュティもまた、昔話が子どもの心にふきこむものは、「人間存在には発展とか成熟とか成就とかいうことが可能であり、自然でもある。そしてそれには欠乏や苦悩に耐えることが必然的に含まれているという信頼の念である」と述べています<sup>5)</sup>。つまり、怖い体験を乗り越えることで無意識のうちに生きる力を蓄えているのです。昔話や古典童話は、子どもの成長・発達に大切な力を与える文学というわけです。

コロナの時代、そしてロシアのウクライナ侵攻など混迷する今こそ、昔話の力を借りるときです。子どもたちが自己の直面している問題に立ち向かっていく力となるのは、グリム童話やアンデルセン童話、イソップ寓話などの昔話なのです。大人の皆さま自身が読んで、きっと良い効果を得られることでしょう。



## 文献

- 1) 中島克治: 数値化できない ところを育てる絵本の力, 月刊ケーヨン 26(9), pp.38-43, 2021.
- 2) 講談社 編: ディズニーゴールド絵本ベスト 白雪姫, 講談社, 東京, 18p, 2021.
- 3) グリム 著, 野村 法 訳: 決定版 完訳グリム童話集3, 筑摩書房, 東京, p.52-72, 1999.
- 4) 竹原威滋: グリム童話と近代メルヘン, 三弥井書店, 東京, p.247-251, 2006.
- 5) マックス・リュティ著, 小澤俊夫 訳: ヨーロッパの昔話 (岩波文庫), 岩波書店, 東京, p.61-88, 2019(初版1969).
- 6) 野村 法: もっと知りたいグリム童話, 筑摩書房, 東京, p.9-16, 2004.
- 7) ブルーノ・ベッテルハイム著, 波多野完治, 乾 侑美子 訳: 昔話の魔力, 評論社, 東京, p.19-39, 1978.